

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

鶴田町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

青森県北津軽郡鶴田町

3 地域再生計画の区域

青森県北津軽郡鶴田町の全域

4 地域再生計画の目標

当町の総人口は1980年をピークに減少し、2019年には12,695人となった。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると2040年には8,848人になると予測される。社会増減の推移をみると、1994年、2010年に若干の社会増がみられるものの、それ以外の年度は社会減の状態が続いている。社会増減は全国的な景気変動の影響を強く受けるものの、2011年度以降、減少幅は拡大傾向にある。主な要因としては、若年者が進学・就職を契機に首都圏をはじめとした県外に数多く転出していることが挙げられる。自然増減については、出生数は長期的に減少傾向である一方、死亡数は増加傾向にある。1995年には死亡数が出生数を上回ったため自然減に転じ、その後は減少幅が拡大傾向にある。自然減の主な要因としては、合計特殊出生率の低下や15歳から49歳までの女性数の減少及び未婚人口の増加による出生数の低下、高齢化の進行による死亡数の増加などが挙げられる。

このような人口の社会減や自然減をはじめ、人口減少が今後も続いた場合、地域社会や地域経済の衰退などの問題が生じると考えられる。

当町では、これまで国際交流による町の未来を担う人づくり、朝ごはん条例による健康長寿のまちづくり、子どもは宝であるとの認識から児童育成支援金の実施による子育て支援など、様々な分野で人口減少に歯止めをかけるための町独自の施策を実施してきたが、今後もあらゆる分野でこれまで以上に施策を強化していくことを考えている。

具体的には、上記の課題に対応するため、当町の基幹産業である農業分野の成長産業化など、これまでの農業と観光の取組に磨きをかけたまちづくりによる魅力あるしごとづくりや、県外・町外の人材を当町に環流させるため、県外・町外における移住推進の取組を行うとともに、当町に在住する若者が当町に定着できるための取組等を行うことで社会減対策を図る。また、町民一人ひとりが健康に対する意識を持ち、自主的な健康づくりに取り組み、疾病を予防し、介護を必要としない健康なまちづくりを促進することや、次代を担う町の宝である子どもたちが希望を持って成長していけるよう、若い世代が結婚、出産、子育てを安心して実現できる環境を整える取組等を行うことで自然減対策を図る。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げる。

- ・基本目標 1 地域特性を生かした雇用の場をつくり、地域産業を支える人材を確保する
- ・基本目標 2 鶴田町への新しい人の流れをつくる
- ・基本目標 3 安全・安心で便利なまちをつくる
- ・基本目標 4 若い世代が希望を持って結婚・出産・子育てできる環境をつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	町内総生産（税等控除前） （第1次産業）	5,796百万 円	7,311百万円	基本目標 1
	町内総生産（税等控除前） （第2次産業）	7,337百万 円	10,019百万 円	
	町内総生産（税等控除前） （第3次産業）	15,086百万 円	16,939百万 円	
	町内事業所数	402事業所	440事業所	
	町内従業者数	3,009人	3,300人	
イ	転入者数	237人	280人	基本目標 2

ウ	転出者数	334人	304人	基本目標 3
	死亡率	1.56%	1.38%	
エ	出生数	64人	80人	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

鶴田町まち・ひと・しごと創生事業

- ア 地域特性を生かした雇用の場をつくり、地域産業を支える人材を確保する事業
- イ 鶴田町への新しい人の流れをつくる事業
- ウ 安全・安心で便利なまちをつくる事業
- エ 若い世代が希望を持って結婚・出産・子育てできる環境をつくる事業

② 事業の内容

- ア 地域特性を生かした雇用の場をつくり、地域産業を支える人材を確保する事業

農業における生産性の向上と経営基盤の強化、農業を支える人材の確保等による農業の振興、農産物の加工体制の構築や商工業の経営基盤の強化等による商工観光業の振興、創業支援や企業誘致等による雇用拡大の推進など、地域特性を活かした雇用の場をつくり、地域産業を支える人材を確保する事業。

- イ 鶴田町への新しい人の流れをつくる事業

移住支援体制や空き家住宅等情報提供の充実、地域資源を活かした観光・

物産メニューの開発・拡充、子育て世帯等の町内定住促進など、鶴田町への新しい人の流れをつくる事業。

ウ 安全・安心で便利なまちをつくる事業

地域福祉の充実、町民の防災力及び消防団活動の強化、公共交通と道路網の充実など、安全・安心で便利なまちをつくる事業。

エ 若い世代が希望を持って結婚・出産・子育てできる環境をつくる事業

結婚・出産への支援、母子に対する保健活動、保育サービス・放課後対策、育児環境の整備と地域連携の推進など、若い世代が希望を持って結婚・出産・子育てできる環境をつくる事業。

※なお、詳細は、第2期鶴田町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の数値目標に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度5月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに鶴田町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで